

2020 年度「事業所向け」・「保護者向け」による自己評価に対する検討結果
(事業所名：【放課後等デイサービス】)

◎環境・体制整備

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係が適切であるか。	10	0	0	0	・人数が多い時は、戸外遊びと室内遊びのグループに分かれてあまり密集しないよう配慮している。

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	32	6	0	0	・クールダウンできるスペースがあり、子ども自身がそれを理解している様子です。 ・ボワさんに限らず、もう少し広いと良いかなと思います。 ・分からない。

・認識のずれ

- ・おやつや工作を行う『テーブルのスペース』と『マットのスペース』、『ベンチ前のスペース』など、遊びや活動内容によって、空間を分けることもできるほどのスペースはあるが、児童がいる状況を直接見る機会がないため、スペースについて判断することが難しいのではないかな。

・改善目標・工夫している点

- ・HPで活動全体の様子が紹介できるような（全体の様子をみて確認できるような）工夫をする。
- ・現在も行っているが、長期休み中等、活動時間が長いときは、午前チームと午後チームに分かれて、室内・戸外入れ替えで活動をするなど、環境を広く使えるような工夫をする。
- ・見学など広く受け入れ、活動中の様子を直接見られる機会を提供する。

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
2	職員の配置数は適切であるか。	10	0	0	0	・HPを活用し、活動の様子と職員との関わりがイメージできるような工夫をする。

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
2	職員の配置数や専門性は適切であるか。	33	5	0	0	・普段の様子を直接見ていないので（適切か分からない）。

						・音楽の先生がいて、綺麗な歌声を子どもに聞かせていただけるのが嬉しい（本物の芸術に触れることができる）。 ・分からない。 ・安心してます。
--	--	--	--	--	--	---

・認識のずれ

- ・職員数について、前期の保護者会でお知らせをしている。日常的に10名の児童に対して7名の職員が配置されているため、事業所としては過不足を感じることはないが、実際に保育（活動）している状況をみるできないため、職員数が適切であるかの判断は難しいと思われる。

・改善目標・工夫している点

- ・HPで活動全体の様子が紹介できるような（全体の様子をみて確認できるような）工夫をする。
- ・見学など広く受け入れ、活動中の様子を直接見られる機会を提供する。

◎適切な支援の提供

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか。	1	4	5	0	・公園での関わり程度。交流を目的とした活動設定は行っていない。 ・公園での交流はあるので、接する機会があれば丁寧にフォローする。

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	ご意見
6	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか。	9	17	9	3	・交流は特に望んでいない。 ・障害が無い子どもと活動を共にすることを求めている。

・認識のずれ

- ・保護者と職員間での認識のズレはないと思われる。全体的に否定的な回答が多いが、放課後児童クラブや児童館などとの交流を「目的としていないこと」「求められていないこと」が確認できた。

・改善目標・工夫している点

- ・公園などの社会資源を活用し、積極的に外に出ている。公園にいる地域の児童との自然なコミュニケーションについては、適切に行える支援している。
（挨拶や遊びへ参加の仕方、ルールがある場合にはルールの説明など）

◎保護者への説明責任

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
--	--------	----	-----------	-----	-----	----------------

32	保護者会の活動を支援したり保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援しているか。	9	1	0	0	・保護者懇親会を設定している。今年度は感染症予防のため中止。 ・実施できる場合は、開催の案内を丁寧に行う。
----	--	---	---	---	---	--

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
10	保護者会の活動支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	2 2	1 3	1	2	・コロナの影響で今は無いが、通常であれば連携がある。 ・「今年はコロナの影響があり、実施できなかった」とのことでした。 ・例年に行われていますが、今年はコロナ禍なので、しばらくは中止でも良いかと。 ・遠方であったり、仕事などで時間帯が合わない。オンライン可にいただけると、時間も取れるし、コロナ禍でも安心（学校はオンラインなので）。

・認識のずれ

- ・保護者が交流できる機会の設定はしているが、今年度はコロナ対策として実施ができなかったということで、大きな認識のズレはみられない。

・改善目標・工夫している点

- ・引き続き、年間計画で保護者懇談会や事業所見学会、保護者会の設定をしていく。
開催の案内、参加の確認を丁寧に行っていく。

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1 0	0	0	0	・苦情があった場合は迅速に丁寧に対応する。

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明	3 1	5	0	2	

	し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。					
--	----------------------------	--	--	--	--	--

・認識のずれ

- ・苦情や要望があった場合は、事業所の苦情受付担当が対応。状況や内容を的確に把握し、解決に向けて動いている。また、法人として、苦情解決第三者委員会の設置があり、年に3回委員会を開催し、法人全体のこととして把握、指導をされている。
- ・苦情や要望について、事業所内や法人内に仕組みがあるが、丁寧に説明をする機会がないため、周知されていないのではないか。

・改善目標・工夫している点

- ・苦情、要望に係る事業所、法人の仕組みについて、丁寧に説明する機会を作る。
(保護者会や事業所自己評価公表など)
- ・HPを活用し意見や要望を伝えやすい環境を整える。
- ・苦情要望については、可能な限り迅速に丁寧に対応をし、開示を求められたときは開示できるよう透明性を保つ。

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
34	定期的に会報等を発行し、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	1	0	0	・広報の発行。HP上で活動の様子を伝えられるように実施中。

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	ご意見
13	定期的に会報等を発行し、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に発信しているか。	33	4	0	1	・法人の各事業所の報告書はとても興味深く読ませていただいています。自己評価表の結果も参考になります。 ・ホームページがあるのか分からない。

・認識のずれ

- ・広報の発行や毎月のお便りで必要な情報を伝えていたが、書面での情報が中心であったため、必要な時、瞬時に情報を取り入れることができないこともある。

・改善目標・工夫している点

- ・毎月発送するお便りと合わせ、HPを活用に必要な情報を取り入れやすくする工夫をする。
- ・児童支援部保護者専用のページを活用し、必要な時に必要な情報を確認できるような仕組みを作る。

◎非常時等の説明

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
--	--------	----	-----------	-----	-----	----------------

39	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練が行われているか。	1 0	0	0	0	・ 年 2 回、1 週間を通して実施。全児童が参加できるようにしている。 ・ 避難経路の確認や、災害の違いに対する訓練を職員、子ども共に行っている。
----	--	-----	---	---	---	---

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練が行われているか。	2 4	1 3	0	1	・ ？。あまり聞いたことが無い。できれば実施してほしい。 ・ 分からない。

・ 認識のずれ

- ・ 実施の計画や内容についての周知が十分ではなかった。
- ・ 実施日の利用がなかったことも考えられる。

・ 改善目標・工夫している点

- ・ 来年度以降についても避難訓練については年間計画にて計画、周知、実施していく。
- ・ 実施後には連絡帳、または HP を通して実施の様子について伝えていく。